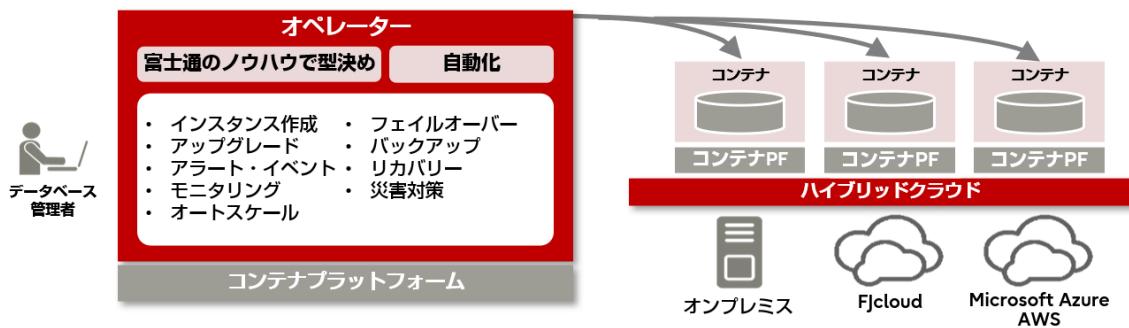


富士通のデータベース「FUJITSU Software Enterprise Postgres 14（以降、Enterprise Postgres 14）」が 2022 年 2 月にリリースされました。ここでは、Enterprise Postgres 14 の製品概要をご紹介します。

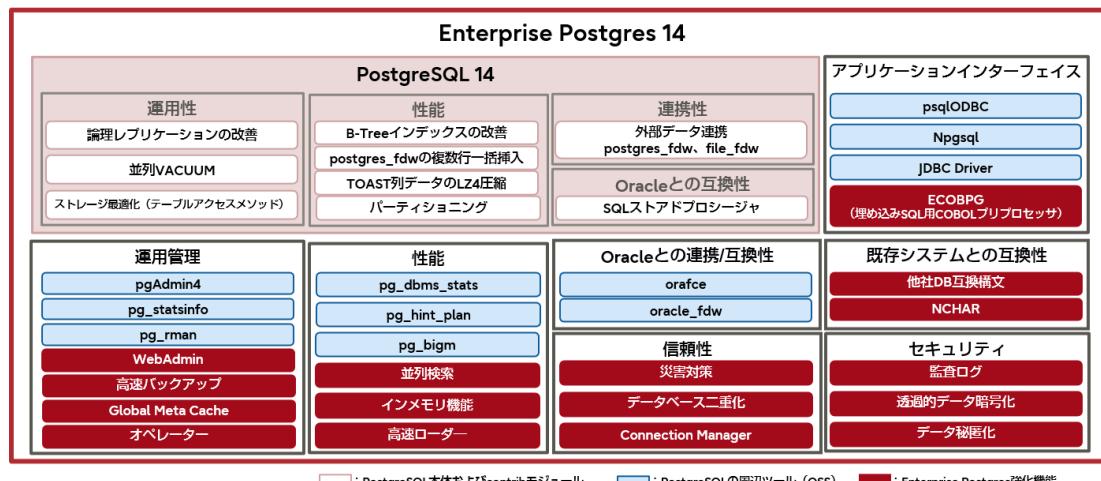
Enterprise Postgres 14 ご紹介

Enterprise Postgres は、PostgreSQL を拡張し、信頼性、性能、セキュリティを強化したデータベースです。開発当初より、堅牢な運用性が求められるミッションクリティカルシステムに対応するため、さまざまな機能を提供してきました。一方で、DX（デジタルトランスフォーメーション）が加速する昨今、オンプレミス、クラウド、エッジなどさまざまなプラットフォームを併用するハイブリッドな環境でシステムを稼働させたいといった要件が増えています。また、ハイブリッドな環境においては、プラットフォーム無依存のコンテナ技術の活用ニーズが高まりを見せてています。

Enterprise Postgres 14 では、このような要件に応え、コンテナに対応し、また、従来からの信頼性や性能、セキュリティを維持しつつ、ハイブリッドな環境でのデータベース運用を実現する「オペレーター」機能を提供します。コンテナプラットフォーム上のデータベース運用をオペレーターが自動化することにより、オンプレミスからクラウドまでどのような環境においても同じ運用操作が可能となり、データベース管理者の運用作業負荷を軽減することができます（オペレーターの提供は 2022 年 3 月の予定です）。



以下の図は、Enterprise Postgres 14 が提供する機能の一部です。Enterprise Postgres 14 においては、PostgreSQL 本体と製品に同梱されているオープンソースソフトウェア（OSS）が最新化されています。



■: PostgreSQL 本体および contrib モジュール ■: PostgreSQL の周辺ツール (OSS) ■: Enterprise Postgres 強化機能

PostgreSQL 14 では、論理レプリケーションの改善や B-Tree インデックスの改善など、運用や性能に関する機能が強化されています。PostgreSQL 14 Press Kit から PostgreSQL 14 のエンハンス内容をご紹介します。

PostgreSQL 14 には、開発者や管理者がデータバックアップアプリケーションを配備するのに役立つさまざまな機能が用意されています。PostgreSQL は、複雑なデータ型に対して革新的な機能を追加し続けています。これには、JSON へのより便利なアクセスや、連続していないデータ範囲のサポートなどが含まれます。今回の最新リリースでは、接続の同時実行性、大量書き込みワークロード、クエリの並列性、および論理レプリケーションの向上に伴い、PostgreSQL のハイパフォーマンスおよび分散データワークロードの改善傾向がさらに強化されています。

【出典】

- PostgreSQL 14 Press Kit (The PostgreSQL Global Development Group)
<https://www.postgresql.org/about/press/presskit14/ja/>

PostgreSQL 14 の機能の詳細については、当社社員で PostgreSQL メジャーコントリビューターの Amit Kapila が技術者 Blog で解説していますので、併せてご覧ください。

関連コンテンツ

- PostgreSQL14 とその後：技術者 Blog

PostgreSQL 14 では、「論理レプリケーションの改善」や「postgres_fdw の複数行一括挿入」など、富士通が PostgreSQL コミュニティに提案し、コミットされた機能が取り込まれています。

以下では、これらの機能を提案/開発した富士通の技術者が機能を詳しく解説しています。

関連コンテンツ

- 最新動向を知る

Enterprise Postgres は、PostgreSQL コミュニティに参画しながら、ミッションクリティカルに向けた機能強化を続けています。また、Red Hat 社などさまざまな企業と連携しエコシステムを構築していくことで、社会システムの IT 基盤を支えていきます。DX の実現に向け、Enterprise Postgres の利用をご検討ください。

2022 年 2 月 4 日